

✦ おさえておきたい! ✦

# LINE WORKSで 仕事がラクになる理由

LINE WORKS活用ハンドブック



# 離れていても作れる  
チームワーク 編

 LINE WORKS

## チームワーク向上 「トーク」「ビデオ通話」で チームを超えた業務を効率的に

リモート勤務やフリーアドレスなど、チームのメンバーと離れた場所で仕事することも増え、昨今では組織でのコミュニケーション手段にも効率化が求められています。

LINEと同じような使い勝手で、誰でもすぐにビジネスチャットをはじめられるLINE WORKSには、「トーク」「ビデオ通話」という機能が備わっており、さまざまな業務シーンで活用されています。

今回は、そんな「トーク」「ビデオ通話」の活用方法を、

### 他部署との連携・顧客との連絡・現場調査の

シーンを例にご紹介します。



#### トーク

### LINEの使いやすさはそのままに あなたの仕事を支えるビジネスチャット

LINEと同じような使い勝手で、誰でもすぐにチャットをはじめられます。1000種類以上の豊富なスタンプですばやく意思表示をしたり、LINEでおなじみのメッセージの既読機能は、誰が既読か未読かの確認も可能です。LINEユーザーとつながることができるので、「自分はLINE WORKSを使い、お客様はLINEのままでトークする」といったことも可能です。

#### ビデオ通話

### 音声/ビデオ通話で 離れていても作れるチームワーク

音声通話はもちろん、複数人によるオンラインでの打ち合わせも無料で行えます。出張先やリモート勤務の自宅からでも、PCやスマートフォンからLINE WORKSでつながればすぐにやりとりが可能です。

またミーティングリンクを発行することで、LINE WORKSのアカウントを持っていない人とも、簡単にビデオ通話が行えます。



## CASE 01

### 急な見積もり、クレーム対応にも 《他部署とのチームワーク》で迅速対応



#### トーク

### 見積もり提出 (データやりとり)

LINE WORKSでは、Excel・PDFなどのファイルをトークで送ったり、フォルダ上に保存することができます。「急ぎの見積もり依頼が入ったけど、外出中で作業できない」という場面でも、**社内の社員へトークで見積もり依頼⇒見積もりデータをトークで受信**といったことも可能で、商談期間の短縮にも貢献します。

#### トーク

### クレーム対応・緊急対応 (全社員トークルーム)

クレーム発生時、「どう対応するべきか分からない」「上司が不在」など対応が困難な場合もあります。**主要メンバーによる「至急対応グループ」**を作っておけば、サポート要請と意見収集が効率的になり、迅速な対応につながります。

@ALL  
〇〇についてご存じの方、いますか？



その件は、●●と回答してください！



対応のフォーマットを送ります！

Point!

### 頻繁に使うトークルームは 「ピン留め」してアクセスしやすく

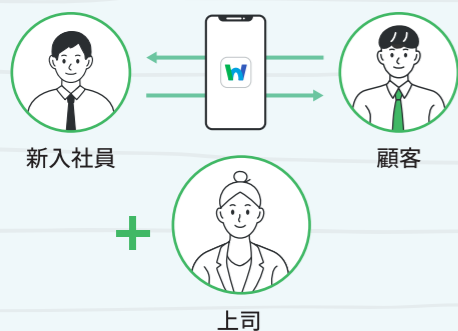
「ピン留め」機能は、任意のトークルームをトークルーム一覧の上部に固定できます。すばやく返信する必要がある顧客とのトークルームを、毎度探す手間を省くことができます。

「ピン留め」を外すこともできるので、やりとりがひと段落したトークルームは、適宜外しておくとい良いでしょう。



CASE 02

《顧客とのトークグループ》に社内メンバーを入れて、より丁寧に対応

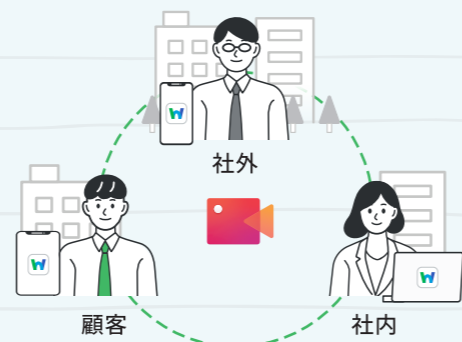


トーク 顧客とのトークルームに他部署のメンバーや上司も参加

LINE WORKSは、外部のLINE WORKSやLINEアカウントと連携してトークすることができます。部署をまたいで顧客対応が必要な案件の場合、自社の営業部門・生産部門の社員と顧客によるトークルームを作成すれば、効率的で丁寧な対応が可能になります。また、新入社員と顧客のトークルームに上司も参加すれば、適宜フォローすることも可能です。

ビデオ通話 自分・顧客・他部署メンバーの場所を気にせず、ビデオ通話を実施

LINE WORKSは、スマートフォン・PC・タブレットでも使えるため「外出中の営業（スマートフォン）」「顧客（タブレット）」「社内のエンジニア（PC）」によるハイブリッドなビデオ通話といったことが可能です。場所を気にせずにアポイントの幅を拡大できることで、結果的にその他の営業機会の創出にもつながります。

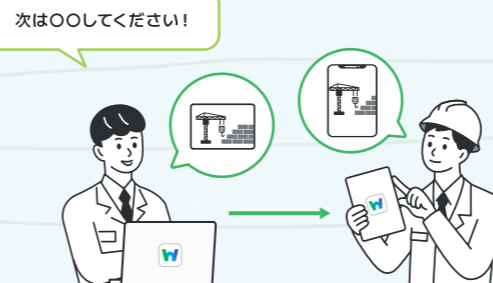


CASE 03

ビデオ通話・画像送信で離れた場所での《現場調査や研修》を効率化

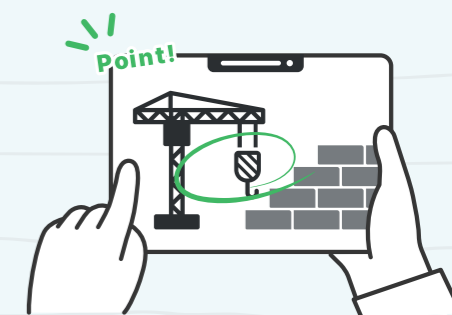
ビデオ通話 現場の進捗確認やトラブル対応をビデオ通話で指示

ビデオ通話は、「現場の状況をそのまま見せながら指示を仰ぐ」など、現場作業での確認に役立ちます。またLINE WORKSでは、相手の電話番号を知らなくても、音声通話・ビデオ通話ができるので、急に確認が必要になった場合でも、すぐに相手とつながることができます。



トーク 画像編集で写真での情報共有をさらに伝わりやすく

トラブルの対応依頼をする際、現場の状況をうまく説明できず、対応する側が状況を把握できないこともあります。LINE WORKSでは、写真や画像の送信はもちろん、その画像に印やテキストを描くことができるので、正確に状況を共有できます。



ミーティングリンク



Point! LINE WORKSアカウントがない相手ともビデオ通話ができる

予定作成時に外部とのミーティングリンクを作成すると、社外のLINE WORKSユーザーまたはゲストとビデオ通話ができます。

※外部とのミーティングリンクを作成するには、管理者画面の「外部LINE WORKS連携」で権限が付与されている必要があります。

活用事例 | パナソニックホームズ株式会社

住宅展示場で商談が成立したときに、社内担当者がグループトークを立ち上げますので、営業や設計、現場監督など社内の担当者が情報共有に活用しています。住宅の着工後は、外部トーク連携機能を活用して施工店様にもLINEで参加してもらい、関係者が一丸となってお客様が求める理想的な住まいづくりをご支援しています。



◀事例全文を見る



活用事例 | 大成建設株式会社

電話やメールに代わって、各現場スタッフからのさまざまな報告が、トークで迅速に上げられるようになりました。写真や動画を貼付してもらえば、よりリアルな状況把握が可能です。動画なら安全上の不具合も一目瞭然なので、わざわざ現場に行くことなく私や安全管理者が気付いた点を注意喚起でき、「安全パトロール」をするのと同様役割を果たしてくれます。



◀事例全文を見る



Point! 写真撮影、画像編集もLINE WORKSひとつで行える

写真内の注目ポイントを○で囲んだ状態などで共有すると、相手との認識を合わせやすく便利です。LINE WORKSでは、トーク画面上から「写真撮影」⇒「画像編集」⇒「画像送信」の一連の動作を行えます。ほかの画像編集ツールを使う必要はありません。



# 上手に使おう！ トーク ビデオ通話

## ほかにもこんな機能があります！



左にスワイプ  
or  
トーク長押し⇒リプライを選択

1

2

1

### 話題が多くて安心 「リプライ」で簡単引用

さまざまな話題が行き交うトークルームでは、どの話題に対するトークかを明確にする必要があります。

「リプライ」を使えば、自分のトークに任意のトークを引用した状態で送信できます。

引用部分をタップすれば、その引用文の位置に一気に移動することもできるので、何度も画面をスクロールする手間も省けます。

※下記の場合は、リプライを使用できません。  
・LINEユーザーがいるトークルーム  
・Bot、通話などのトーク

2

### とっさの確認に最適 「リアクション」で意思表示

特定のトークに対して、感謝、OK、最高、笑い、泣き、拍手の6種類の「リアクション」ができます。

リアクションをしてもトークの送信者に通知は届かず、スタンプのようにトークのスペースを使わないので、気軽に意思を示すことができます。

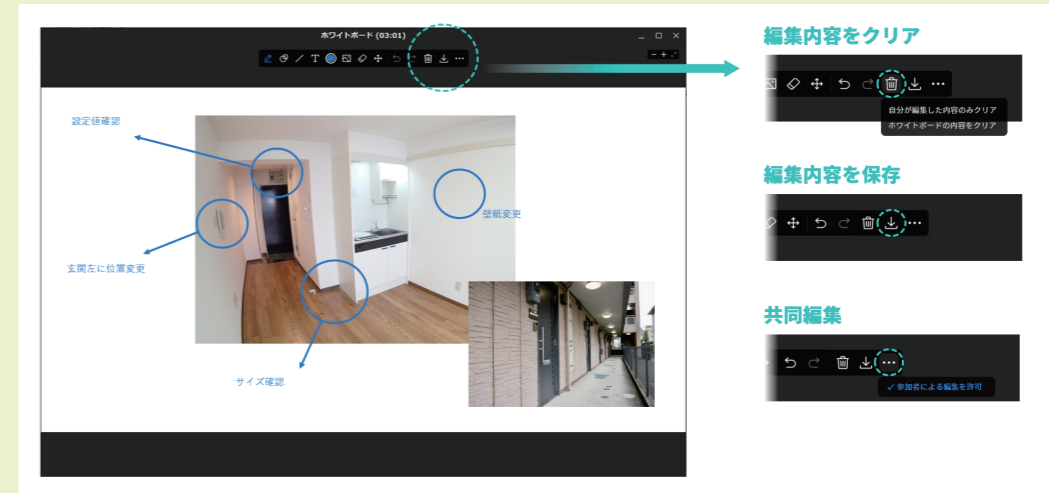
誰がどのリアクションをしたかも確認できるので、単純に可否を確認するだけの質問には、「OK」のリアクションだけで回答をもらうといったことも可能です。

※送信してから7日が経過したトークには、リアクションしたり、送信済みのリアクションを変更や削除することはできません。  
※LINEユーザーがいるトークルームではリアクションを使用できません。

## WEB会議でのアイデア出しに 「ホワイトボード」でディスカッション

ビデオ通話の「画面共有」からホワイトボード機能が利用可能です。ホワイトボードはビデオ通話参加メンバーによる共同編集や、スマートフォンからの閲覧/編集もできるため、画面共有よりも効率的で柔軟なディスカッションが可能です。ホワイトボードの内容は画像として保存することもできるため、出し合ったアイデアをミーティング後に再確認したり、不参加メンバーへの共有にも便利です。

※ ホワイトボードは、Windows、Mac環境 (PC版アプリ) とiOS環境 (モバイル版アプリ) で開始できます。Android環境 (モバイル版アプリ) では、ホワイトボードに参加することはできますが、開始することはできません。(2024年4月現在)



## 名刺やビデオ通話の背景に QRコードで簡単につながる

外部のLINE WORKSやLINEのユーザーと連携する際に便利なのが、「自分のQRコード」の発行です。相手のスマートフォンで読み込んでもらえば、すぐに連携がはじめられます。自分の名刺やビデオ通話の背景にQRコードを付けておくことで、効率よくコミュニケーションをLINE WORKSに移行できます。





## 無料セミナー実施中

実例から学ぶ!

LINE WORKSフル活用オンラインセミナー

<https://lp.line-works.com/free-full-utilization/>



## 活用支援ガイド

LINE WORKSの基本的な使い方や

活用方法をお届け

<https://line-works.com/step-up/>



## トライアル実施中

有償プランを30日間無料体験!

お問い合わせフォームに「トライアル希望」の旨を記載して、お申込みください

[https://lp.line-works.com/lineworks\\_trial/](https://lp.line-works.com/lineworks_trial/)



## アプリダウンロードはこちらから!

QRコードを読み取ってダウンロードページにアクセスできます



iPhone



Android

